

## 電波掛時計 (HD-1688 RC sweep-z 共通)

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書/保証書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

### 取扱説明書

#### 製品仕様

- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）  
(電波時計による時刻修正を行わない場合)  
※指針（針の表示）誤差  
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。  
秒針：±1秒以内 時・分針：±3度以内
- 使用温度範囲：0°C～+40°C
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V) 1個(電池別売)  
※充電式電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
- ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。
- 電池寿命：約12ヶ月(単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)  
※貴い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。
- 電波受信/時刻合わせ機能：  
40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。  
●自動受信（最多8回/日）  
●手動受信  
●電波受信オン/オフ機能

#### 電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つた時計です。  
電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

#### 標準電波について

日本標準時の時刻情報を得た標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行ったため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グリーブ」を参照して下さい。

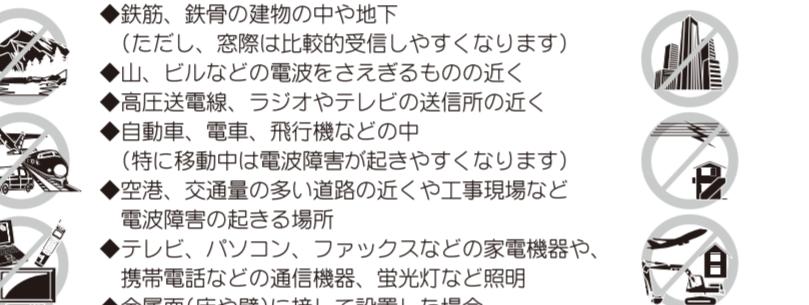
情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

#### 日本国外でのご使用について

本製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。  
本体裏面の電波ON/OFFスイッチを[OFF]にして、現地時刻に手動設定して下さい。  
(本体「手動時刻設定について」参照)  
※電波ON/OFFスイッチが[ON]のとき、日本の標準電波送信所から1,000km以上離れた場所でも、ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波を受信する場合があります。

#### 使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下の条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。



※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。  
このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

#### △ 注意と警告 安全にご使用いただくために 下記の注意事項を必ず守って下さい。

#### 使用上の注意

##### ① 禁止 ●分解・改造をしないで下さい。

△注意 △警告 ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用・保管は、しないで下さい。◆温度が0°C以下、または40°C以上になる場所◆浴室など、湿気の多い場所◆直射日光などの強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所、不安定な場所◆工場、台所など、油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所◆温風機などの乾燥した風が当たる場所◆塵や埃の多い場所◆ゴムやビニール系素材に長い間直接接触させておくと、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。

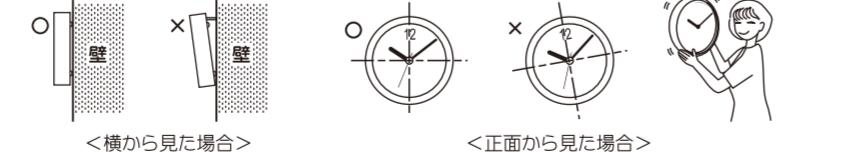
#### 電池について

##### ② 禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●+/-を逆に入れないと逆で下さい。●電池に直接ハンダ付けをしないで下さい。

△注意 △警告 ●寿命の切れた電池は、すぐに電池ホルダからはすして下さい。●長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは、失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、医師に相談して下さい。●電池着脱の際は、指先等をケガしないよう注意して下さい。●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は各自治体の指定に従って下さい。

#### 時計の掛け方について

△注意 △警告 ●時計は確実に掛け下さい。落下により、ケガをする恐れがあります。●掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。●時計は垂直・水平に掛け下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。●木質の厚い壁面・木の柱に掛けるときは、付属の木ネジをご使用下さい。●コンクリート・石膏ボードなどの壁には付属の掛け具を使用せずに、壁の材質に合わせて市販の掛け具を使用して下さい。●記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談下さい。



#### お手入れについて

●プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラバキをして下さい。木枠金属枠の場合は、柔らかい布でカラバキをして下さい。●ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

## 保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	販売店
お買上げ日	
保証期間	お買上げ日より1年間

この保証書は、  
複製のため、  
ご利用できません。

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。  
本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

本保証書は日本国内のみ有効です。(This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社

本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ伸光3階

HD-1688 RCsweep-z-1607

## 電波掛時計

(HD-1688 RC sweep-z 共通)

このたびは、当社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書/保証書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

### 取扱説明書

#### 製品仕様

- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）  
(電波時計による時刻修正を行わない場合)  
※指針（針の表示）誤差  
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。  
秒針：±1秒以内 時・分針：±3度以内
- 使用温度範囲：0°C～+40°C
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V) 1個(電池別売)  
※充電式電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
- ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。
- 電池寿命：約12ヶ月(単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)  
※貴い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。
- 電波受信/時刻合わせ機能：  
40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。  
●自動受信（最多8回/日）  
●手動受信  
●電波受信オン/オフ機能

#### 電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つた時計です。  
電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

#### 標準電波について

日本標準時の時刻情報を得た標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行ったため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グリーブ」を参照して下さい。

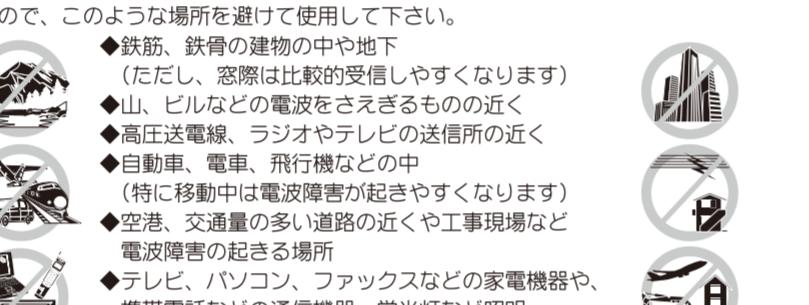
情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

#### 日本国外でのご使用について

本製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。  
本体裏面の電波ON/OFFスイッチを[OFF]にして、現地時刻に手動設定して下さい。  
(本体「手動時刻設定について」参照)  
※電波ON/OFFスイッチが[ON]のとき、日本の標準電波送信所から1,000km以上離れた場所でも、ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波を受信する場合があります。

#### 使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下の条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。



※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。  
このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

#### △ 注意と警告 安全にご使用いただくために 下記の注意事項を必ず守って下さい。

#### 使用上の注意

##### ① 禁止 ●分解・改造をしないで下さい。

△注意 △警告 ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用・保管は、しないで下さい。◆温度が0°C以下、または40°C以上になる場所◆浴室など、湿気の多い場所◆直射日光などの強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所、不安定な場所◆工場、台所など、油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所◆温風機などの乾燥した風が当たる場所◆塵や埃の多い場所◆ゴムやビニール系素材に長い間直接接触させておくと、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。

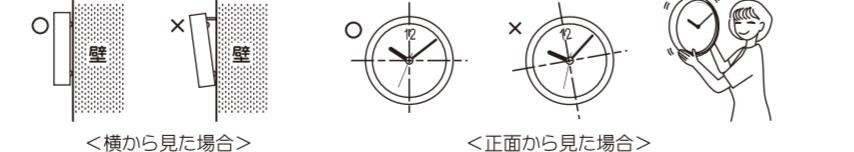
#### 電池について

##### ② 禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●+/-を逆に入れないと逆で下さい。●電池に直接ハンダ付けをしないで下さい。

△注意 △警告 ●寿命の切れた電池は、すぐに電池ホルダからはすして下さい。●長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは、失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、医師に相談して下さい。●電池着脱の際は、指先等をケガしないよう注意して下さい。●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は各自治体の指定に従って下さい。

#### 時計の掛け方について

△注意 △警告 ●時計は確実に掛け下さい。落下により、ケガをする恐れがあります。●掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。●時計は垂直・水平に掛け下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。●木質の厚い壁面・木の柱に掛けるときは、付属の木ネジをご使用下さい。●コンクリート・石膏ボードなどの壁には付属の掛け具を使用せずに、壁の材質に合わせて市販の掛け具を使用して下さい。●記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談下さい。



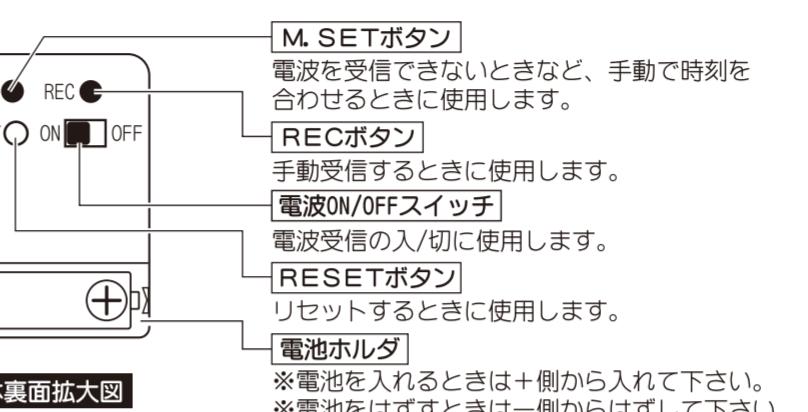
#### お手入れについて

●プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラバキをして下さい。木枠金属枠の場合は、柔らかい布でカラバキをして下さい。●ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

## ご使用の前に

本製品は、日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つた電波時計です。操作の手順や動作などが、一般的の時計製品と異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。本書をお手元に保管して下さい。

### 各部の名称



#### 電波受信ON/OFF機能について

電波受信または、手動受信ができる状態にする  
電波ON/OFFスイッチを[ON]の位置にする  
電波受信をしない状態にする  
電波ON/OFFスイッチを[OFF]の位置にする

任意の時刻設定でご使用の場合は、電波ON/OFFスイッチを[OFF]にして下さい。  
電波ON/OFFスイッチを[OFF]の状態から[ON]の位置にすると電波受信状態となり、秒針が12時位置で停止し、4~16分間電波受信状態となります。

#### 電波時計のご使用方法

電波時計としてお使いになる場合は、以下の操作をして下さい。

注 電波受信中（受信のための時分秒針の運転中または停止中）は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運転中に操作をして下さい。  
誤動作の原因となります。